

開校記念に植樹された 大ソテツ



昭和4年5月12日
潮見尋常高等小学校
児童数 1,550人
学級数 32学級でスタート

開校記念の碑
大ソテツの横に建っています。
尽力されたたくさんの方々の
名前が刻まれています。



開校と同時に植樹されたソテツ。堂々とした大ソテツに成長しました。いくつかの幹は朽ち、穴も開いています。しかし、今でも元気に子供たちの学校生活を見守っています。

本校 12代
中村武志校長先生
(昭和 43~47 年在任)
※校長室掲示写真より



昭和45年6月19日の新聞に潮見小学校のことが掲載されています。その中で、(上写真)中村校長先生は、この大ソテツのことに触れています。「本校玄関横の大ソテツ。41年前、開校記念に植樹されたものです。このソテツが波乱に富んだ本校の歴史を最もよく知っています。戦災にもめげず(校舎も含め殆どが焼失)どんな逆境にも耐え抜いてきたこのソテツのようにたくましく成長してほしいものですね。」と児童に向けての思いを語られています。 ※開校当初からあるのはこのソテツだけ。まさに本校の生き証人です。